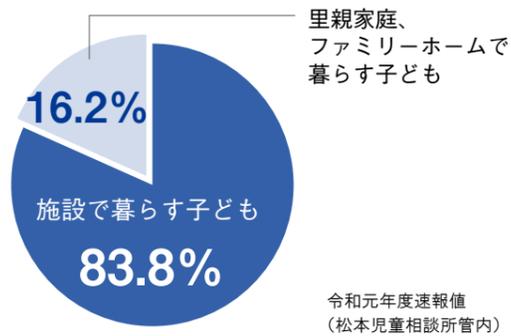
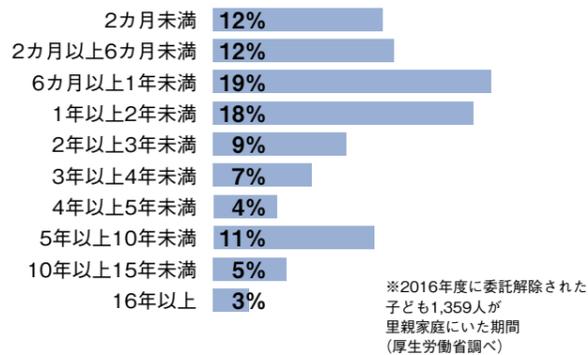


特集◎「里親」のカタチ

(グラフ1) 親と暮らせない子どもたちが暮らす場所



(グラフ2) 子どもが里親家庭にいる期間



顔を見ているだけでも心が和みます。また、子どもが元の家庭で再び生活できるようになるお手伝いができることにやりがいを感じています。

安心して眠れる。それで十分食べられる。

里子に対しては、何か特別なものを用意しているわけではありません。必要なことは、安心して眠れ、ご飯が食べられて、学校にも通えるということ。いい子にしてあげようということよりも、その子のありのままを受け入れることが大切です。子どもにはもともと秘めた力があると思います。環境が悪いとオドオドして、それが出せないこともあります。お預かりした子どもでも、不安がなくなること、力が発揮できるようになった子がいました。

本来、家庭は一番安心できるはずの場所です。里親家庭は、立派な家でなくても、子どもが安心して暮らす環境であれば、それで十分だと思います。

また、子どもたちにとっても将来、家庭を持った時のモデルになるという点でも欠かせない体験だと思っています。

まずは行動。そして知ること

近年では里親への支援も充実してきています。行政や里親会などが連携してチームで養育するという点も昔と変わった点の一つです。里親に興味がある人、関心がある人は、まずは一歩踏み出してみてください。段階を踏みながら考えていただいてもいいと思います。子どもとの相性もありますので、依頼があっても難しいと判断すれば断っても構いません。無理して引き受けてもお互いに良くないと思います。

里親制度はあくまでも「子どものため」の制度です。その子どもに最も合った里親に委託するためには、さまざまな形の里親が地域に偏ることなくいることが大切だと感じています。

子どもは社会の宝です。子育てに関わる家族の負担を社会全体で支え合い、里親が地域の中で子育てをすることがごく普通になるよう、一人でも多くの人に里親制度に関心を持っていただき、一緒に活動していけたら嬉しいです。

「里親」のカタチはいろいろ。 できるカタチで、家庭環境をプレゼント。



いろいろな里親のカタチがあります!

養育里親 (委託期間は数週間・数年間と多様)
親の病気や虐待などさまざまな理由で家で暮らせない子どもを一定期間養育する。

養子縁組里親 (養子縁組が成立するまで)
生みの親が育てられない子どもを家族の一員として迎え入れ、法的な親子関係を結ぶことを前提として養育する。

里親の経験が豊富な…
むれ たかき
牟禮 孝貴 さん
よしこ
倅子 さん

●プロフィール
安曇野市豊科高家在住。中信地区里親会会長。平成13年から現在まで、特別養子縁組のほか、短期の養育里親や一時保護など3歳から11歳までの8人の「里親」を務める。

きっかけはそれぞれいい

里親になったきっかけは、子育てを経験したいという気持ちからでした。しかし、里親の活動を通じて、家庭に恵まれず、親と離れて暮らすことが必要な子どもが多くいることを知り、この子たちに安心して暮らす家庭を体験してほしいという気持ちが生れました。

私たちの場合は、18歳の長男もいますが、親と生活できない子どもを短期間お預かりする「養育里親」をしています。

里親というと、子どものいる家庭では関係がない活動というイメージがありますが、実際には、お子さんの手が離れた後、小さい子どもと触れ合いたいというきっかけで里親になられた人も多くいらっしゃいます。

里親といっても、受け入れる期間(グラフ2参照)や関わり方はさまざまです。それぞれの生活に合った形で多くの人に活動に関わっていただきたいと願っています。

子どもには何の責任もない

預かる子どもとうまくやっていくのは、毎回不安があります。生活リズムも大きく変わります。

市の相談件数と里親の状況

昨年度、市の家庭児童相談室には、202件の相談(養育不安68件、虐待112件等)が寄せられました。問題が深刻で、親と暮らせなくなった子どもたちは、より家庭に近い環境である里親による養育を優先することが望まれています。しかし、現状では、里親家庭で暮らす子ども(松本児童相談所管内)は全体の2割に満たない状況(グラフ1参照)です。まだまだ里親の人数が不足しています。

これまで私のところに来てくれたのは皆、個性豊かかわいらしい子どもたちでした。「実親側にどんな事情があっても子どもには何の責任もない」と考えると頑張れます。

里親として最も嬉しい時は、共に子どもの成長を喜べることです。自転車の練習を一緒にして、できるようになった時の子どもの表情、最初は心を閉ざしていた子どもが少しずつ自分を出せるようになり、生き生きと学校に通えるようになったことなどが思い出されます。もちろん大変さもありますが、お預かりした子どもがいると家がにぎやかになり、笑顔や寝